

邑楽町農地利用最適化推進委員の推薦・応募状況(最終公表)

	推薦・応募の別		推薦・応募の区域	候補者							推薦をする者			推薦・応募の理由
	推薦	応募		氏名	職業	年齢	性別	経歴	営農類型	農業経営状況	法人又は団体		個人	
											名称	代表者		
1			第1区域	小林 俊三	農業	70	男	昭和50年より農業に従事	米麦	経営面積 100,000㎡ 農業従事日数 250日/年間			小林 憲一	農業従事者として経験豊富で地域情勢に明るく、人脈もあり適任である。
2			第2区域	大塚 澄生	農業	55	男	現農地利用最適化推進委員副委員長(2期目)	米麦、白菜、にがうり	経営面積 60,000㎡ 農業従事日数 300日/年間			宮澤 孝男	大塚澄生様は、6区十三坊塚の伝統ある専業農家で、町の認定農家のご長男であり、その後継者として農業経営に従事しております。現在、農業経営者は高齢化が進む中、若手の一人として将来有望とされる人材であります。従って、第2区域の農地利用最適化推進委員として適任であり、推薦いたします。
3			第3区域	浅沼 常雄	会社員	63	男	昭和52年 太田工業高校 卒業 昭和54年 三洋電機(株) 入社 平成31年に退職し、シニアスタッフで雇用継続し現在に至る 5年前から館林市の農家で手伝いをしている	野菜全般	経営面積 99㎡ 農業従事日数 2日/週			後藤 高茂	浅沼常雄氏は責任感が強く、行動力があり、以前から農業に関心を持っておりました。休日等には知人の農業を手伝う等勤勉で向上心が高いことから、第3区域として邑楽町農地利用最適化推進委員に推薦いたします。
4			第4区域	小倉 富夫	農業	72	男	館林市役所へ勤務 42年間 農業委員 6年間(平成11年～平成17年) 農業 平成11年から現在まで	米、ナス	経営面積 19,000㎡ 農業従事日数 300日/年間			小倉 章利	館林市役所に定年まで勤務し、その後の農業委員を2期6年間勤め、法律や農業全般について多大な識見を有しています。
5			第5区域	金子 重雄	農業	72	男	昭和44年3月 館林高校 卒業 昭和44年4月～昭和46年9月 電々公社 東銀座電話局 昭和46年10月～平成21年7月 邑楽町役場 平成21年8月～現在 農業 平成24年4月～現在 邑楽町認定農業者	米麦 白菜	経営面積 78,829㎡ 農業従事日数 300日/年間			渡邊 孝治	地域の農業情勢に精通している
6			第6区域	岩崎 年男	農業	72	男	平成26年 邑楽町農業委員(1期) 平成29年 邑楽町農地利用最適化推進委員(2期) 現農地利用最適化推進委員長	米麦	経営面積 8,000㎡ 農業従事日数 150日/年間			和田 長治	岩崎さんは3期9年の実績があり、日常活動においては農地の状況等の確認をし、利用の最適化に向けた活動を実施し地区のまとめ役として期待できます。
7			第7区域	長島 恒雄	会社員	63	男	共同建設(株) 勤務 (太田市)	米	経営面積 13,150㎡ 農業従事日数 150日/年間			吉田 和明	農地等の利用に対して最適化への推進活動をするための資質を有している。事象を大局的に捉えた考え、行動ができる人柄である。
8			第8区域	山崎 昭弘	農業	67	男	会社員として25年勤務した後 18年米麦中心に農業経営をしている 現農地利用最適化推進委員	米麦	経営面積 30,000㎡ 農業従事日数 180日/年間			金子 万喜夫	浅沼・住谷崎での協議の結果、3年間邑楽町農地利用最適化推進委員として活動し、農業の発展向上活性化に努め、地域の共栄、共存を和をもって成すため、尽力されている農事組合法人の山崎昭弘氏を推薦いたします。

9		第9区域	大野 敏泰	農業	72	男	昭和44年3月 県立大泉高等学校卒業 昭和44年4月 荻原鉄工(株)入社 平成23年3月、同社定年退職 平成23年4月 農事支部長、待矢場総代 令和2年7月 邑楽町農地利用最適化推進委員	米	経営面積 15,737㎡ 農業従事日数 30日/年間		木村 正男	待矢場総代を経験、令和2年7月から農地利用最適化推進委員として活動している
10		第10区域	小川 雅道	団体職員	62	男	昭和53年3月 群馬県立館林高等学校卒業 昭和53年4月 長柄農業協同組合 入職 (合併により組合名変更) 令和4年3月 邑楽館林農業協同組合 退職 令和4年4月 同組合 60歳以降継続雇用	米麦	経営面積 23,906㎡ 農業従事日数 104日/年間		細谷 文夫	長く農業協同組合に勤務し、家族にて農業にも従事している。消防団員や青少年育成推進員を務め、地域への奉仕の精神に富み、何事にも協力的で努力家、地域住民の人望が厚い。農業協同組合勤務時は営農対策・指導の業務を7年務め、農事組合法人の会計を担当している。地域の農業の現状や農家情報にも精通している。農地の集積や耕作放棄地の発生防止・解消など、農地等の利用の最適化の推進に関し、適任の人材です。
11		第11区域	酒本 富夫	農業	66	男	太田市立商業高校、立正大学経営学科卒。平成29年3月 邑楽館林農業協同組合 定年退職 現在は農業を経営	米 ネギ	経営面積 32,267㎡ 農業従事日数 150日/年間		小室 俊幸	大学卒業後、農業協同組合に38年勤務し、農業、農業経営に精通している。また、農地利用最適化推進委員を1期務めて経験も豊富である。
12		第12区域	小澤 康弘	農業	60	男	邑楽町農業青年会議 会長 群馬県青年農業士 国際農業交流協会 日本支部 事務局長 群馬県国際農業者協会 副会長 群馬県農業経営士 邑楽町認定農業者協議会 会長 群馬県農業公社農地中間管理事業評価委員	米麦、肉牛、露地野菜	経営面積 170,000㎡ 農業従事日数 300日/年間		新井 孝幸	積極的に地域活動に取り組み地域からの信望が厚い。経歴に記入した役職・資格等から推薦いたします。
13		第13区域	浦野 宗久	無職	75	男	群馬県立太田工業高校卒業後、富士重工(株)(現スバル)入社 同社を退職後、区の役職を歴任した。その後、27区の区長を務める。	自給用野菜等	経営面積 100㎡ 農業従事日数 50日/年間		浦野 芳行	農業従事の実験はないが、元区長として区全体を遠観的に見て、適切な状況判断ができる。フットワークよく、地区のリーダーの一人として現在も活躍している。人格・識見・責任感ともに素晴らしく、農地利用最適化推進委員として、ふさわしい人材である。
14		第14区域	栗原 一幸	農業	66	男	昭和47年3月 館林高等職業訓練校 卒業 昭和47年4月 日産サニー群馬販売(株)入社 昭和50年3月 館林高等学校定時制商業科 卒業 平成2年3月 日産サニー群馬販売(株)退社 平成2年3月 (株)レンタルのニッケン 入社 令和3年3月 (株)レンタルのニッケン定年退職	米麦	経営面積 12,600㎡ 農業従事日数 50日/年間		栗原 雅夫	28区土木委員の重責を担っている。その仕事ぶりは極めて誠実で緻密であり、地区住民の信頼も厚い。農業問題への関心も深く「邑楽町農地利用最適化推進委員候補者」として最適である。

15			第15区域	横山 英則	農業	43	男	高校卒業後民間企業に就職 22歳から家業である農業に従事し現在に至る	米麦、サトイモ、 白菜、キャベツ等	経営面積 95,000㎡ 農業従事日数 300日/年間			田口 茂雄	22歳で就農後、現在までの20年間以上家業である農業に従事していることから、地域の農業に精通している。温厚実直な性格であり、地域の有望な青年農業者として活躍している。今後の地域農業の発展に向け、若手農業者のリーダーとなるべき存在であることから、委員としての業務においても貢献できると思われるため、農地利用最適化推進委員として強く推薦するものです。
----	--	--	-------	-------	----	----	---	---------------------------------------	----------------------	--------------------------------------	--	--	-------	---